

チタン製熱交換器の特徴

高耐食性

チタンは、腐食性のある溶液や海水に対して他の金属と比較し、半永久的な耐食性があるため各種産業用冷水装置や食品用冷水装置に最適であり、又、魚介類の生存に影響のある金属イオンが海水に溶出しないので養殖設備や店舗用などの様々な海水冷却装置などに最適です。

軽量・コンパクト

ステンレスに比べると、チタンは比重が6割であり、かつ薄肉管が使用出来るため、チタンコイル式熱交換器の場合、熱交重量は1/4～1/10と軽量です。又、小径曲げ加工も可能であり、コンパクトな熱交換器を提供いたします。

最適熱交の設計

ユーザーニーズに合わせ、色々な熱交換器の中から最も適正のある製品を選択し、大きさや形状等を最適な熱交換器の設計、製作を行っております。

高信頼性

冷媒ガスを用いる熱交換器において、ガスリークの発生しないチタンクラッド継手方式を用いた熱交換器を提供いたします。

チタン熱交換器用各種継手方法

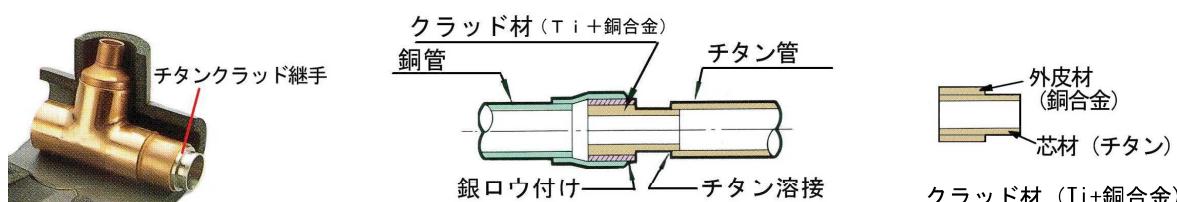
チタンクラッド継手

熱間静水圧押出による銅／チタン接続継手を開発しました。

芯材にチタン、外皮材に銅合金を使用したこれまでにない複合継手であり、ご使用において十分満足いただけるものと考えております。

チタンと銅を直接溶接することはできません。

このクラッド材(Ti+銅合金)の複合継手を開発する事で銅管は外皮材の銅合金と銀ロウ付けを、チタン管は芯材のチタンと溶接することができガスリークの無い安心できる熱交換器を作ることができました。



特長

ロウ付け／溶接の継手構造のためリークの心配がありません。

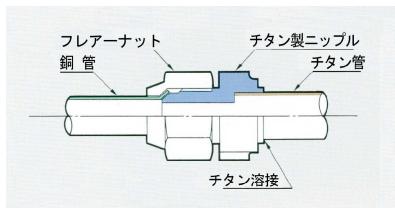
使用時の振動による冷媒ガスの漏れがなくメンテナンスフリーです。

銅管とロウ付け加工し接続するため工事が容易です。

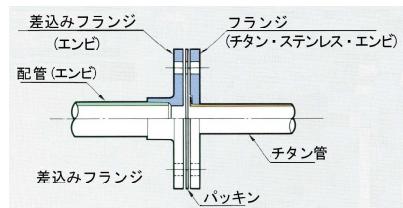
その他の継手

各熱交換器によってご利用いただける継手は異なりますが下記よりそれぞれの配管接続方法をお選びいただけます。

チタンニップル継手方法
(冷媒配管)



ルーズフランジ継手方式
(水配管)



チタンニップル継手方法
(水配管)

